

北海道浮魚ニュース

平成 19(2007)年度 2号 (通巻 No.235)

2007年 5月 1日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

今年の本日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたのでお知らせします。今回の予報は、漁期前半(5月~7月)の予報で、速報的な情報が中心です。

なおこの予報は、日本海側道府県水試も参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。予報本文は次のホームページでご覧になれます。水産庁(<http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>)、日本海区水産研究所(<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)。

今後の見通し(2007年5月~7月)

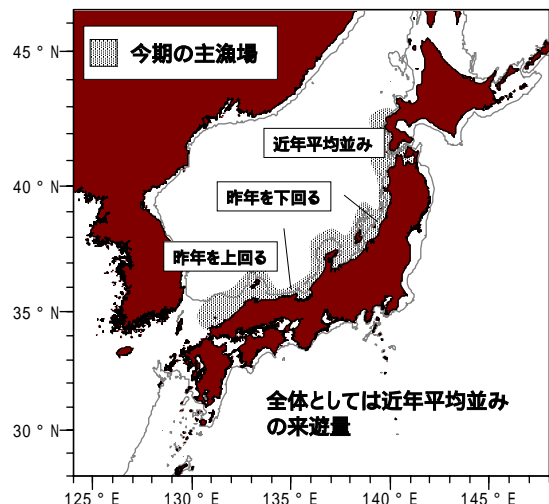
対象魚種 : スルメイカ

対象海域 : 日本海

対象漁業 : 主にいか釣り漁業

対象魚群 : 主に秋季発生系群

- (1) 来遊量 :
近年平均並み(昨年をやや下回る)。
- (2) 漁期・漁場 :
山陰は昨年を上回るが、
北陸では昨年を下回る。
北上が早く、漁期の始まりは早い。
- (3) 魚体の大きさ :
小型が多い。



- ・ 対馬暖流域の水温はやや高く、今後もやや高めで推移すると予測されており、魚群の北上が早いと予想されます。
- ・ 昨年秋の幼生分布調査の結果から(図1)、幼生の量は近年平均を下回るものの1990年代の水準は維持していた。
- ・ 今年4月の新規加入量調査の結果から(図2, 3)、平均分布密度は近年平均を上回るものの今期に加入する外套長5cm以上の個体の分布は近年平均並み。

北海道に来遊するスルメイカについての情報はまだ少なく、今後のスルメイカの来遊状況に関しては、5月下旬から函館水試金星丸が、6月下旬から中央水試おやしお丸が調査を行います。その結果をお待ち下さい。

また、漁期後半については、第2回日本海スルメイカ長期漁況予報が7月に発表されます。情報については、随時浮魚ニュースでお知らせいたします。

(文責 : 中央水産試験場資源管理部, TEL:0135-23-8707, FAX:0135-23-8709)

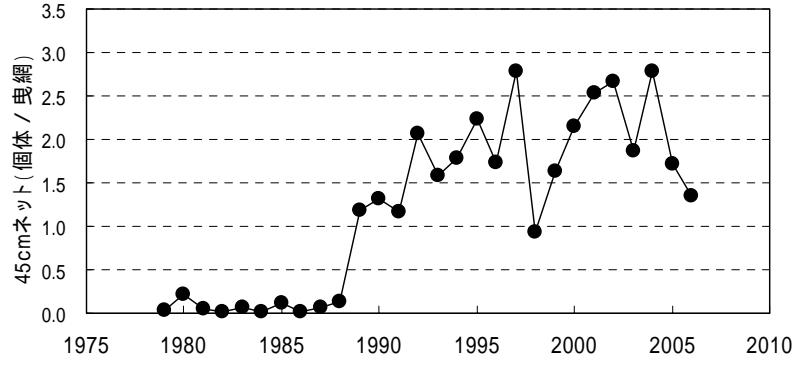


図1 口径45cmネットの鉛直曳調査で採集されたスルメイカ幼生の平均採集個体数の変化(2006年10月~11月, 日本海南西部から九州北西部の海域で調査)

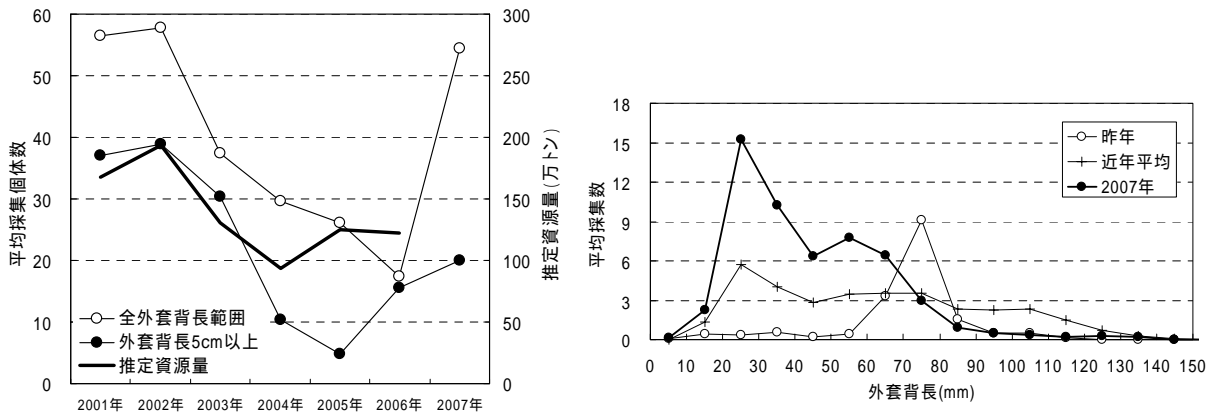


図2 新規加入量調査の平均採集個体数(左図)、外套長別採集個体数(右図)(2007年4月のトロール調査結果)

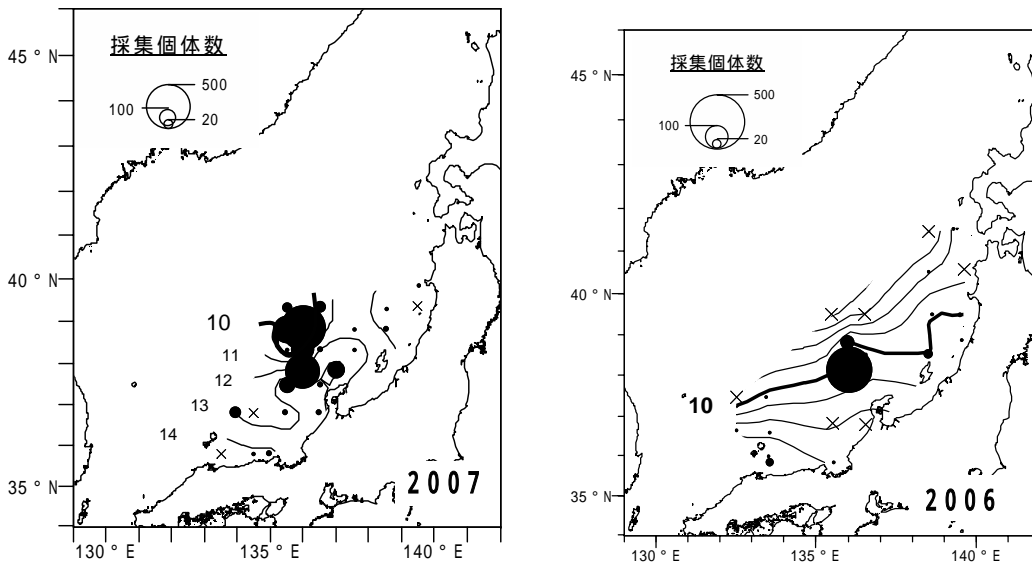


図3 新規加入量調査のスルメイカの採集個体数と表面水温分布(4月のトロール調査結果; 左: 2007年, 右: 2006年)